

昭和44年(1969年)	十島会館が営業を開始した。
昭和45年(1970年)	臥蛇島民が全員移住し、無人島になった。
昭和46年(1971年)	村営定期船として「第3十島丸」(鋼船496トン)が就航した。
昭和48年(1973年)	十島村の行政区が大島郡から鹿児島県に変更された。
昭和53年(1978年)	口之島、中之島、悪石島、小宝島、宝島の電気事業を九州電力㈱に移管し、操業を開始した。
昭和54年(1979年)	中之島地域の電話がダイヤル化され、一般加入電話が開通した。 平島、諏訪之瀬島の電気事業を九州電力㈱に移管し、操業を開始した。
昭和55年(1980年)	製水施設が口之島及び中之島に整備された。
昭和56年(1981年)	行政連絡船「とから幸風」(FRP19トン)が就航した。
昭和58年(1983年)	製水施設が平島及び悪石島に整備された。
昭和59年(1984年)	製水施設が諏訪之瀬島及び宝島に整備された。
昭和60年(1985年)	小宝島の城之前漁港に漁船上架施設が整備された。 村営定期船として「としま」(1,090トン)が就航した(月間8航海の運航となった)。
昭和61年(1986年)	中之島の中之島漁港及び平島の南之浜港に漁船上架施設が整備された。
昭和62年(1987年)	第1回村民体育大会を十島村総合運動公園で開催した。 第1回文化の祭典「セブン・アイランド89」を中之島で開催した。
平成元年(1989年)	悪石島共同利用施設が整備された。 悪石島に湯泊温泉保養センターが整備された。
平成2年(1990年)	ふるさと創生事業で中之島に天文観測施設、展望台、登山道等が整備された。 小宝島港に定期船「としま」が接岸し、十島村から船による通船作業が消えた。 宝島に航路待合施設が整備された。 口之島にさとの湯温泉保養センターが整備された。 宝島の前籠漁港に漁船上架施設が整備された。
平成3年(1991年)	天文観測施設に60センチ「カセグレン」式反射望遠鏡を導入した。 高速観光船「ななしま」(軽合金38トン)が就航した。 各島のへき地診療所に、遠隔問診(静止画像伝送)システムを導入した。 小宝島共同利用施設が整備された。
平成4年(1992年)	トカラ列島が県立自然公園の指定を受けた。 小宝島に航路待合施設が整備された。
平成5年(1993年)	中之島に十島村歴史民俗資料館が開館した。 焼却施設が悪石島に整備された。 平島、宝島に共同利用施設が整備された。
平成6年(1994年)	第1回国際水中映像祭を中之島で開催した。 小宝島温泉保養センターが整備された。 中之島に十島総合開発センター洗濯施設が整備された。 諏訪之瀬島に共同利用施設が整備された。
平成7年(1995年)	第2回国際水中映像祭を中之島で開催した。 平島にあかひけ温泉保養センターが整備された。 宝島に大籠レクリエーション施設が整備された。
平成8年(1996年)	トカラマリンフェスタを宝島で開催した。 焼却施設が口之島および中之島に整備された。 宝島に大型洗濯施設が整備された。 口之島に家畜保護施設が整備された。 平島に共同利用家畜保護施設が整備された。
平成9年(1997年)	畜産組合結成・市場出荷10周年記念大会が口之島で開催された。 村営諏訪之瀬島飛行場を設置した。 焼却施設が悪石島に整備された。 平島に家畜保護施設、堆肥舎施設が整備された。 宝島に宝島友の花温泉保養センターが整備された。 宝島に鮮魚加工センターが整備された。
平成10年(1998年)	交通船「ななしま2」(軽合金19トン)が就航した。 生ごみ高速発酵処理施設が平島に整備された。 中之島にセツ山キャンプ場施設が整備された。
平成11年(1999年)	小宝島赤立神海水浴場が整備された。 平島テレビ共聴施設が整備された。 生ゴミ高速発酵処理施設が諏訪之瀬島に整備された。
平成12年(2000年)	島内外交流イベント、「パラダイストカラin AKUSEKI」が開催された。 トカラ山羊飼育施設が完成した。 諏訪之瀬島テレビ共聴施設が整備された。 生ゴミ高速発酵処理施設が悪石島、小宝島に整備された。 村営定期船「フェリーとしま」(鋼船1,389トン)が就航した(週3便体制　月・水・金の定曜日出航)。 「フェリーとしま」の受付業務が中川運輸へ委託された。 島内外交流イベント、「パラダイストカラin AKUSEKIⅡ」が開催された。 悪石島沖にて群発地震が発生した。 トカラ列島植樹祭2000が中之島で開催された。 小宝島の城之前漁港に製水施設が整備された。

■村名呼称の変遷



平成19年(2007年)	「トカラいきいき教室」事業が開始された。
	宝島家畜保護施設が完成した。
	平島東之浜海水浴場が完成した。
	十島村役場組織機構の改編を行い、企画観光課と船舶課を廃止し、5課を3課とした。
	自動体外除細動機(AED)を、口之島、中之島、宝島、「フェリーとしま」に整備した。
	村政100周年記念シンポジウムとして、「翔けトカラ・産業まつり〜チャレンジ、トカライフ〜」が口之島で開催された。
	諏訪之瀬島小中学校体育館が完成した。
平成20年(2008年)	全国瞬時警報システム(J-ALERT)を整備した。
	中之島椎崎地区に緊急時用ヘリポートが完成した。
	平島に大型洗濯乾燥機が整備された。
	恵石島、小宝島に堆肥舎施設が整備された。
	諏訪之瀬島に被覆栽培施設(ビニールハウス)10棟が整備された。
	諏訪之瀬島生活改善施設が完成した。
	中之島、平島の一部で地上デジタル放送の試験放送が開始された。
平成21年(2009年)	自動体外除細動機(AED)を、平島、諏訪之瀬島、恵石島、小宝島、役場本庁に整備した。
	口之島で村内初となる受精卵移植による子牛が誕生した。
	宝島に共同利用家畜保護施設、堆肥舎施設、機械倉庫兼作業場施設が整備された。
	口之島に家畜育成施設が整備された。
	恵石島、小宝島に農産物集出荷施設が整備された。
	平島に平島東之浜レクリエーション施設が整備された。
	平島に平島大浦レクリエーション施設が整備された。
平成22年(2010年)	2009年トカラ皆既日食が開催された。
	としま会館が3月20日の営業を最後に閉館した。
	健康としま21が開催された。
	第1回トカラふるさと会が開催された。
	宝島に畜産機械格納庫が整備された。
	平島に農産物集出荷施設が整備された。
	中之島コミュニティセンターが完成した。
平成23年(2011年)	全国町村会「優良町村表彰」を受賞。約1,300人を受け入れた「2009皆既日食」への取り組みが高く評価された。
	「フェリーとしま」鹿児島入港便において「移動禁止植物」が発見された。
	十島村各島で地域づくり委員会が発足した。
	小規模多機能居宅介護類似事業 宝島で「やすらぎ教室」が開催された。
	トカラ・ミステリーツアーが開催された。
	「トカラとアジア青年をつなぐ食の文化祭」が開催された。
	各出張所で住民票、印鑑証明書、及び税務関係書類が発行可能となった。
平成24年(2012年)	6月議会より、議会ライブ中継が開始された。
	村内で高速インターネットの運用が開始された。
	村HPにて港湾ウェブカメラ・気象情報公開が始まった。
	トカラ民俗写真集が刊行された。
	中之島に堆肥舎施設が整備された。
	高速観光船「ななしま2」の指定管理が開始された。
	十島村インターネット接続サービスが開始され、サービス名愛称が「トカラ結ネット」に決定された。
平成25年(2013年)	十島村のタケノコ出荷式が行われた。
	戸籍事務がコンピュータ化された。
	県ドクターヘリが運航開始された。
	本土復帰60周年及び臥蛇島離島40周年を記念した記念式典が盛大に開催された。
	十島村・十島村漁業協同組合・嶺山口水産の3者間において急速凍結機を利用した水産物加工の取り扱いに関する協定調印式が行われた。
	自主防災組織育成会議が開催された。
	諏訪之瀬島、恵石島、小宝島に大型洗濯施設が整備された。
平成26年(2014年)	本土復帰60周年を記念し、各島で記念植樹が行われた。
	戸籍に関する証明書が各出張所で受け取り可能となった。
	トカラ畜産組合が法人として発足した。
	三島村・十島村における大規模な災害時の応援に関する協定が国土交通省九州地方整備局と結ばれた。
	十島村役場組織機構の改編を行い、経済課を廃止、土木交通課・地域振興課を新設し、3課を4課とした。
	「宝島女神山の森林植物群落」が国の天然記念物に指定された。
	十島産牛「みちよ」が第10回全国和牛能力共進会に十島村産として初出場した。
平成27年(2015年)	十島村高齢者見守り支援事業が始まった。
	「フェリーとしま」が東之浜港へ接岸した。
	宝島共生型サービス拠点施設が完成し、介護保険事業サービスが開始された。(委託:瀬浪漫)
	小規模多機能型居宅介護事業所(小規模多機能ホーム たから)が開所した。
	平島に共同利用飼料機械倉庫が整備された。
	中之島に被覆栽培施設(平張施設)3棟が整備された。
	平成25年4月1日より名瀬港の出港時刻を午前4時から午前3時へ変更した。
平成28年(2016年)	平成25年7月1日より「フェリーとしま」が全便名瀬便での運航となる。
	平成25年7月1日より離島住民運賃割引制度を導入した。

平成13年(2001年)	諏訪之瀬島淡水化施設が完成した。
	鹿児島県立博物館にて「トカラ展」が開催された。
	放射性廃棄物の村内への持ち込み拒否に関する条例が制定された。
	恵石島テレビ共聴施設が整備された。
	小宝島に製氷施設が整備された。
	「フェリーとしま」ターミナルが鹿児島県本港区南埠頭に完成した。
	村立口之島中学校校舎が完成した。
平成14年(2002年)	十島村本土復帰50周年を記念した「トカラ写真・パネル展」がいづろドームにて開催された。
	十島村本土復帰50周年記念式典が中之島にて開催された。
	諏訪之瀬島の切石港に漁船上架施設が整備された。
	臥蛇島全島移住30年訪問事業を実施した。
	国内最大級と思われる魚木が口之島で発見された。
	中之島に農産物集出荷施設が整備された。
	有人各島のヘリポートに照明施設が整備された。
平成15年(2003年)	口之島に航路待合施設が整備された。
	宝島イマキラ岳展望施設が整備された。
	自動車放置防止条例が制定された。
	口之島平瀬海水浴場が完成した。
	中之島天文台に天文台長が配置された。
	中之島診療所に医師が常駐するようになった。
	市町村合併に関する住民意識調査が実施された。
平成16年(2004年)	全国小さな村の教育サミットが口之島及び中之島で開催された。
	夏休みアドベンチャー「冒険宝島」が宝島にて開催された。
	十島村中学校連合体育大会が吉田町で開催された。
	交流イベント、「パラダイストカラ in TAIRA」が平島で開催された。
	小宝島淡水化施設が完成した。
	口之島に平瀬レクリエーション施設が整備された。
	サンセベリアのビニール栽培が口之島で始まった。
平成17年(2005年)	「トカラの学校を見に行こう」ツアーが開催された。
	夏休み冒険アドベンチャー「2003冒険宝島」が開催された。
	産業イベント、「トカラ海縁産業まつり」が口之島で開催された。
	恵石島に家畜保護施設が整備された。
	恵石島のやすら浜港に製氷施設が整備された。
	恵石島小中学校体育館が完成した。
	防災行政無線の部分運用が始まった。
平成18年(2006年)	十島村歴史民俗資料館がリニューアルオープンした。
	水道事業が水道特別会計に移行した。
	十島村昆虫保護条例が制定された。
	恵石島に荷積崎観光レクリエーション施設が整備された。
	諏訪之瀬島において、鹿児島県及び関係機関合同での離島火山防災訓練、防災点検が実施された。
	諏訪之瀬島の元浦港に漁船上架施設が整備された。
	口之島の西之浜漁港に漁船上架施設が整備された。
平成19年(2007年)	全島に小型合併処理浄化槽が整備された。
	十島村歴史民俗資料館の展示物リニューアルが完了した。
	諏訪之瀬島診療所が老朽化により新設された。
	口之島に家畜保護施設を整備し、牛発情発見システムの導入が開始された。
	防災行政無線通信設備が整備完了し、全面運用が開始された。
	「フェリーとしま」のバリアフリー化整備が行われた。
	口之島で鹿児島県地区植樹祭が開催された。
平成20年(2008年)	NPO法人トカラインターフェイスが役場旧庁舎1階に特産品販売所をオープンした。
	十島村指定金融機関としてJAグリーン鹿児島農協と契約、調印した。
	中之島で、スローライフ「トカラへの旅」が開催された。
	初出荷から8年目にして、サンセベリア出荷額が1,000万円を突破した。
	鹿児島県議会の企画建設委員会が口之島、中之島、平島を視察した。
	宝島に農産物集出荷施設が整備された。
	口之島、諏訪之瀬島に堆肥舎施設が整備された。
平成21年(2009年)	口之島に大型洗濯機、大型乾燥機が整備された。
	諏訪之瀬島に諏訪之瀬島レクリエーション施設が整備された。
	2009年トカラ列島皆既日食カウントダウン2006 in SUWANOSEが開催された。
	十島村友好島民制度の導入を開始した。
	高齢者の生活支援、介護予防体制の構築、保健医療福祉の実態調査、研究を実施した。
	第1回トカラ列島島めぐりマラソンを開催した。
	中之島において、鹿児島県及び関係機関合同での離島火山防災訓練、防災点検が実施された。
平成22年(2010年)	口之島において、第1回国民保護訓練(実動訓練)が実施された。
	鹿児島県知事が「知事と語る会」に併せて有人7島を視察した。
	諏訪之瀬島火山避難壕が完成した。
平成23年(2011年)	
平成24年(2012年)	
平成25年(2013年)	
平成26年(2014年)	
平成27年(2015年)	
平成28年(2016年)	
平成29年(2017年)	
平成30年(2018年)	
平成31年(2019年)	
令和元年(2019年)	
令和2年(2020年)	
令和3年(2021年)	
令和4年(2022年)	
令和5年(2023年)	
令和6年(2024年)	
令和7年(2025年)	
令和8年(2026年)	
令和9年(2027年)	
令和10年(2028年)	
令和11年(2029年)	
令和12年(2030年)	
令和13年(2031年)	
令和14年(2032年)	
令和15年(2033年)	
令和16年(2034年)	
令和17年(2035年)	
令和18年(2036年)	
令和19年(2037年)	
令和20年(2038年)	
令和21年(2039年)	
令和22年(2040年)	
令和23年(2041年)	
令和24年(2042年)	
令和25年(2043年)	
令和26年(2044年)	
令和27年(2045年)	
令和28年(2046年)	
令和29年(2047年)	
令和30年(2048年)	
令和31年(2049年)	
令和32年(2050年)	
令和33年(2051年)	
令和34年(2052年)	
令和35年(2053年)	
令和36年(2054年)	
令和37年(2055年)	
令和38年(2056年)	
令和39年(2057年)	
令和40年(2058年)	
令和41年(2059年)	
令和42年(2060年)	
令和43年(2061年)	
令和44年(2062年)	
令和45年(2063年)	
令和46年(2064年)	
令和47年(2065年)	
令和48年(2066年)	
令和49年(2067年)	
令和50年(2068年)	
令和51年(2069年)	
令和52年(2070年)	
令和53年(2071年)	
令和54年(2072年)	
令和55年(2073年)	
令和56年(2074年)	
令和57年(2075年)	
令和58年(2076年)	
令和59年(2077年)	
令和60年(2078年)	
令和61年(2079年)	
令和62年(2080年)	
令和63年(2081年)	
令和64年(2082年)	
令和65年(2083年)	
令和66年(2084年)	
令和67年(2085年)	
令和68年(2086年)	
令和69年(2087年)	
令和70年(2088年)	
令和71年(2089年)	
令和72年(2090年)	
令和73年(2091年)	
令和74年(2092年)	
令和75年(2093年)	
令和76年(2094年)	
令和77年(2095年)	
令和78年(2096年)	
令和79年(2097年)	
令和80年(2098年)	
令和81年(2099年)	
令和82年(2100年)	
令和83年(2101年)	
令和84年(2102年)	
令和85年(2103年)	
令和86年(2104年)	
令和87年(2105年)	
令和88年(2106年)	
令和89年(2107年)	
令和90年(2108年)	
令和91年(2109年)	
令和92年(2110年)	
令和93年(2111年)	
令和94年(2112年)	
令和95年(2113年)	
令和96年(2114年)	
令和97年(2115年)	
令和98年(2116年)	
令和99年(2117年)	
令和100年(2118年)	
令和101年(2119年)	
令和102年(2120年)	
令和103年(2121年)	
令和104年(2122年)	
令和105年(2123年)	
令和106年(2124年)	
令和107年(2125年)	
令和108年(2126年)	
令和109年(2127年)	
令和110年(2128年)	
令和111年(2129年)	
令和112年(2130年)	
令和113年(2131年)	
令和114年(2132年)	
令和115年(2133年)	
令和116年(2134年)	
令和117年(2135年)	
令和118年(2136年)	
令和119年(2137年)	
令和120年(2138年)	
令和121年(2139年)	
令和122年(2140年)	
令和123年(2141年)	
令和124年(2142年)	
令和125年(2143年)	
令和126年(2144年)	
令和127年(2145年)	
令和128年(2146年)	
令和129年(2147年)	
令和130年(2148年)	
令和131年(2149年)	
令和132年(2150年)	
令和133年(2151年)	
令和134年(2152年)	

平成30年(2018年)	諏訪之瀬島に簡易郵便局が開局した。
	小宝島に簡易郵便局が開局した。
	十島村で初めてとなる給油所が宝島で開所した。
令和元年(2019年)	「十島村誌追録版」が発行された。
	知事と語るう車座対話が宝島で開催された。
	各島小中学校の全ての普通教室に空調機器(エアコン)が設置された。
	諏訪之瀬島、平島の2島にALT(外国語指導助手)が配置された。
	「悪石島のボゼ」ユネスコ無形文化遺産登録伝達式・記念式典及びシンポジウムが開催された。
令和2年(2020年)	悪石島サンドスバが整備された。
	中之島から諏訪之瀬島・平島に海底光ケーブルが接続された。
	防災行政無線のデジタル化が行われ、船の出入港情報がホームページと連動できるようになった。
	第2期十島村まち・ひと・しごと創生「総合戦略」を策定した。
	十島村役場組織機構の改編を行い、総務課の政策推進室を情報政策室と危機管理室に改廃、地域振興課の定住対策室を人口対策室として組織の見直しを図るとともに、村長部局全ての室に室長職を配置した。
	諏訪之瀬島に山海留学生寮が開設された。
	悪石島にボゼユネスコ登録記念施設が完成した。
	中之島で650ミリを超える記録的大雨となり、50年に1度の大雨情報が発表された。
	十島村に2箇所目の悪石島給油所が開所し、同日に悪石島売店が開店した。
	台風10号接近に伴う、初の島外避難を実施した。
令和3年(2021年)	諏訪之瀬島御岳の活動が活発になり、一時噴火警戒レベルを2から3へ引き上げた。
	十島村に3箇所目の口之島給油所が開所し、同日に口之島売店が開店した。
	平島大浦展望台(バリアフリー対応の築山)が整備された。
	畜産基盤再編総合整備事業が開始され、口之島ナガヘタ牧場施設造成・給餌・給水施設が整備された。
	中之島から口之島、宝島から小宝島に海底光ケーブルが接続された。
	9月1日学校給食費無償化事業がスタートした。
	7月7日文化庁により諏訪之瀬島のマルバサツキ、ツクシヤマザクラの調査が行われた。
	十島村で初となる中之島で(公財)どうぶつ基金による野猫の不妊手術が実施された。
	学校情報通信ネットワーク環境の整備及び児童生徒1人1台タブレット端末の整備が完了した。
	「新型コロナワクチン接種対策室」の設置。島民の第1回目を4月、2回目を5月に実施した。
令和4年(2022年)	トカラ列島近海を震源とする地震が多発した。震度1以上の地震が5日間に264回も観測された。
	口之島で大雨による土砂崩れが発生した。
	臥蛇島離島50年記念式典を31名の参加で臥蛇島で開催した。
	悪石島でトカラ列島近海を震源とする震度5強の地震が発生した。
	諏訪之瀬島御岳の火山活動が活発化し噴煙が4,800メートルに達した。集落内でも多量の降灰があり国から大型、小型のロードスweeperの貸与を受けた。
	平島で(公財)どうぶつ基金による野猫の不妊手術が実施された。
	全島で光ケーブル整備が完了し、超高速ブロードバンドサービスが開始された。
	令和4年2月10日十島村日本復帰・村制施行70周年記念式典を開催した。
	悪石島に山海留学生寮が開設された。
	諏訪之瀬島ナベダオのツクシヤマザクラ群が県指定天然記念物に指定された。
令和5年(2023年)	火山噴火予知連絡会において中之島の御岳を常時観測火山に追加するよう気象庁に提言があった。
	10月諏訪之瀬島場外離着陸場避難タミナル建設・開所式を行い、鹿児島〜諏訪之瀬島間の航空便が就航した。
	県補助事業を活用した民間企業による離島における再エネ主力電源化可能性調査が口之島、中之島で実施された。
	環境省補助事業を活用した民間企業による離島における再エネ主力化に向けた運転制御設置導入構築事業(計画策定)が実施された。
	村内、庁内のデジタル化を促進するために「デジタル推進委員会」が設置された。
	十島村食生活改善推進員連絡協議会が国の食育活動表彰において最優秀賞の農林水産大臣表彰を受賞した。
	1月鹿児島航空自衛隊の救難ヘリが除籍され、急患の対応は新田原(宮崎)、高遊原(熊本)、那覇(沖縄)が担うこととなった。
	口之島に山海留学生寮(第一寮)が開設された。
	小宝島に山海留学生寮が開設された。
	社会医療法人緑泉会(米盛病院)と医療用ヘリコプターによる搬送等に関する協定を締結した。
令和6年(2024年)	悪石島で鹿児島県知事のふれあい対話が開催され、全島に来島された。
	鹿児島地域振興局と災害時における災害対策本部設置のための庁舎使用に関する協定を締結した。
	村会議員全議員で防衛省井野副大臣(当時)と面会し、防衛予算についての要望活動を行った。
	株式会社 ニシムタと災害時の食料等の供給協定を締結した。
	鹿児島県では初となるリモート型の防災アトラクションを実施した。
	第6次十島村総合振興計画を策定した。
	全島の小学校、中学校が廃止された。
	全島において義務教育学校が開設された。
	宝島に山海留学生寮が開設された。
	諏訪之瀬島白水の滝が村指定文化財(名勝)に指定された。
	中之島が火山災害警戒地域の指定を受けた。
	現職大臣として初めて坂本農林水産大臣が十島村を視察された。
	9月30日鹿児島みらい農業協同組合役場駐在職員の撤退が行われ、平成18年から18年半続いたJA窓口が閉鎖された。

平成25年(2013年)	十島村の港がポートオブザイヤーを受賞した。
	小宝島分校に体育館を新設した。
	鹿児島市のみなと大通り公園にて十島村農林水産祭を開催した。
	中之島、諏訪之瀬島に共同利用家畜保護施設が整備された。
	中之島に被覆栽培施設(平張施設)8棟が整備された。
平成26年(2014年)	中之島に被覆栽培施設(ビニールハウス)が整備された。
	宝島に被覆栽培施設(平張施設)2棟が整備された。
	水産加工施設が中之島及び平島に整備された。
	第1回十島村航路検討委員会を開催した。
	中之島歴史民俗資料館・天文台・トカラ馬管理人として非常勤職員を配置した。
	十島村産ビワ出荷30周年セレモニーを開催した。
	第1回〜第4回十島村航路改善協議会を開催した。
	航路改善計画を策定した。
	諏訪之瀬島に被覆栽培施設(平張施設)4棟が整備された。
	諏訪之瀬島に農業用水施設が整備された。
	悪石島に被覆栽培施設(平張施設)4棟が整備された。
	悪石島に農業用水施設が整備された。
	中之島高尾地区に農産物集出荷施設が整備された。
	中之島に被覆栽培施設(平張施設)4棟が整備された。
	諏訪之瀬島に共同利用飼料機械倉庫が整備された。
平成27年(2015年)	口之島に瀬良馬温泉交流館が整備された。
	第30回国民文化祭・かごしま2015十島村国民文化祭「トカラの伝統芸能祭」が開催された。
	平成27年4月1日より「フェリーとしま」の寄港順路が変更になる。 (口之島⇄中之島⇄諏訪之瀬島⇄平島⇄悪石島⇄小宝島⇄宝島)
	各島公共施設にて公共無線LANを設置・開設した。
	十島村立の全小・中学校で土曜授業が始まった。
	小規模多機能ホームたからで3周年記念イベントが開催された。
	介護予防・日常生活支援総合事業として「口之島なごみの里」を開園した。
	平成27年度鹿児島地域植樹祭が宝島で開催された。
	第2回〜第4回十島村航路検討委員会を開催した。
	第1回十島村船舶建造技術審査委員会を開催した。
平成28年(2016年)	口之島、悪石島、宝島にヒサキキ場が整備された。
	中之島に大型洗濯施設が整備された。
	口之島に家畜分娩施設が整備された。
	口之島の西之浜漁港に新製水施設が整備された。
	諏訪之瀬島、小宝島の小中学校が分校から本校になった。
	十島村まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」・「総合戦略」を策定した。
	十島村食生活改善推進員連絡協議会が鹿児島県知事表彰を受賞した。
	十島村メール配信サービスの運用を開始した。
	十島村老人クラブ連合会が「100万人会員増強運動特別賞」を受賞した。
	10回目の節目となる「第10回トカラ列島めぐりマラソン大会」を開催した。
平成29年(2017年)	十島村食生活改善推進協議会が「南・賀屋賞」を受賞した。
	口之島に瀬良馬温泉露天風呂が整備された。
	第2回十島村船舶建造技術審査委員会を開催した。
	十島村造船所推薦委員会を開催した。
	奄美ドクターヘリの運航が開始され十島村は奄美ドクターヘリ圏内となった。
	山本保氏の子牛(去勢)が十島村過去最高価格の95万円を記録した。
	有人国境離島法の施行により、フェリーとしまの住民割引運賃が島間にも適用されるようになった。
	フェリーとしまのダイヤ改正により名瀬出港時刻が午前3時から午前2時になった。
	山海留学制度の安定化を図るため、全島に山海留学受入組織が設立された。
	十島村で初めての「山海留学生寮」が平島と口之島に開設した。
平成30年(2018年)	第2回十島村村民体育大会が30年ぶりに開催された。
	3月に「悪石島のボゼ」が国指定重要無形民俗文化財に指定された。
	口之島家畜分娩施設2号棟が整備された。
	中之島アイランドスバ施設が整備された。
	小宝島トンネルハウスが整備された。
	小宝島赤立神レクリエーション施設が整備された。
	悪石島に簡易郵便局が開局した。
	平島に簡易郵便局が開局した。
	村営定期船「フェリーとしま2」(鋼船1,953トン)が就航した。
	住民課内に「十島村子育て世代包括支援センター」を設置した。
	村内5校(口之島、中之島、悪石島、小宝島、宝島)にALT(外国語指導助手)が配置された。
	「フェリーとしま2」就航記念「第3回文化の祭典セブンアイランド2018」(村民文化祭)が開催された。
	11月29日に「悪石島のボゼ」がユネスコ無形文化遺産に登録された。
	口之島さとのカワ公園が整備された。
	小宝島家畜育成施設が整備された。